

智頭町小・中学校 ミニ・アイスクールだより



令和7年12月17日

智頭町学校運営協議会 会長 吉澤 太基
地域コーディネーター
久本 知子
長石 彰祐
國岡 秀憲
〃
〃

第4回学校運営協議会（11月10日）報告



智頭中学校会議室で、第4回学校運営協議会を開催しました。

まず、全体協議会では、小学校の様子を聞きました。ゲストティーチャーやじげの子応援隊の皆さんの学校教育に対する協力に感謝の言葉がありました。続いて中学校からは、学力についての各種調査結果から成果と課題について話がありました。

智頭町の未来を担う子供たちには「智頭町に戻ってきてほしい。」と大人が言うことや帰ってこられる町にするために環境をよくすることが必要だという話が出ました。

じげの子応援隊の活動報告のあとは、智頭中学校生徒会執行部の生徒の皆さんとの意見交換会がありました。「こんな学校にしたい」という思いや願いを一人一人から聞きました。「挨拶ができる学校」「地域の人とつながり、関わりを増やしたい」という意見が多くあり、生徒会として進めてくれることを期待しています。学校運営協議会としても今年度の熟議で出た意見を一つでも実現に向けて進めていくことを確認して閉会となりました。次回2月が今年度最後の会となります。

小学校 マラソン大会（10月24日）



秋晴れの中、マラソン大会が行われました。じげの子応援隊の皆さんには、コースの安全を見守っていただきました。おかげさまで、児童は自分の力を出し切って走ることができました。ご協力ありがとうございました。

学校運営協議会全体テーマ「智頭（じげ）の子は 智頭（じげ）が育てる」
あいさつ部会テーマ 「あいさつは 大人の愛（あい）さつ やってみよう」

（裏面に続く）

町P連主催「教育を語る会」(12月9日)

「未来をひらく子供たちと、ともに創るふるさと教育～若者の定着・移住促進に向けた地域のチカラと学校・園の役割～」がテーマでした。教育委員会と企画課から「移住定住・子育て支援施策」についての説明があり、情報共有をしました。手厚い施策があること知り、智頭町での子育ての良さをもっとPRしていったらよいのではという感想が出ていました。

その後のグループに分かれて「未来の町作りに向け、私たちは何ができるか、町に望むもの」をテーマに話し合いました。今できる魅力ある地域づくりや人と人をつないでいくことが未来につながっていくという意見が出ていました。自分は何ができるかという当事者意識を持ち、一つでも話し合ったことが実現していくよう行動していくことを思いました。

11月12月 2年生「かけ算九九の聞き取りボランティア」



のべ42名のじげの子応援隊の皆さん、昼休憩の2年生「九九の聞き取り」に協力してくださいました。順番・逆・ばらばらコースをすらすらと唱えられたらシールがもらえて、子供たちも大喜びでした。じげの子応援隊の皆さんに聞いてもらえることで、やる気が出たようです。

12月16日は、2年生が町探検や九九聞き取りに協力してくださいましたじげの子応援隊の皆さんを招いてお礼の気持ちを伝える会を開きました。

お茶お花クラブが「お茶会」(11月20日)に招待



お茶・お花クラブが、日ごろ登下校の見守りや学習でお世話になっているじげの子応援隊の皆さんへの感謝を込めて「お茶会」を開きました。

当日は、おいしいお菓子とお抹茶でおもてなしをしました。心温まるひとときとなりました。



中学校3年生 面接指導(12月15日、19日)



高校入試の面接に向けて、教育・保育に携わっておられた3名の方が面接官となって面接指導をしてくださいました。いつもの学校の先生と違い、少し緊張感をもって面接に臨む経験ができます。本番では、練習したことを活かし、自信を持ち落ち着いて面接を受けてほしいと思います。

中学校では、2学期最後の給食ボランティアを12月15日3年生、18日2年生、19日1年生で行います。中学生に感想を聞いたところ、「楽しみにしている。」「もっとあったらいい。」という感想がありました。毎月、ご協力いただきありがとうございます。来年もよろしくお願いします。